

# HIV患者におけるCA-MRSAによる皮膚軟部組織感染症の臨床像 および分離されたCA-MRSA株の分子疫学についての解析研究

## ■研究目的

研究責任者:ACC科医長 照屋勝治

2015年頃より外来患者の皮膚感染症の原因として、一般的な抗菌薬が効かない(CA-MRSA)が増加してきています。原因として、同一のCA-MRSAがヒトからヒトへ感染することで拡大している可能性があります。本研究では患者から分離菌の解析を行うとともに、患者の診療情報から感染経路を解明することを目的としています。

## ■対象・方法

2016年4月～2019年3月の間にACC外来でMRSAによる皮膚感染症と診断された20歳以上の例を対象とします。検査室に保存されている菌の解析(順天堂大学で実施)と、発症者の診療録情報を抽出して研究を行います(研究期間:倫理審査委員会承認日～2022年9月)。情報は完全に保護され、個人情報~~が外部に漏れる事はありません~~。申し出があれば何らの不利益もなく対象から除外させていただきます。ご希望があれば、研究に支障が出ない範囲内で、収集された個人の情報内容や、研究計画書をご確認頂く事も可能です。窓口までお問い合わせください。

本研究は、「日本医療研究開発機構 エイズ対策実用化研究事業 「ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究(研究責任者:照屋勝治)課題管理番号:19fk0410016h0002」を資金源として行われます。利益相反状に該当する事項はありません。利益相反の状況についてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しています。

### 【お問い合わせ窓口】

新宿区戸山1-21-1

国立研究開発法人国立国際医療研究センター ACC 照屋勝治

TEL: 03-3202-7181 FAX: 03-3208-4244

Ver 1.2

2019年9月25日